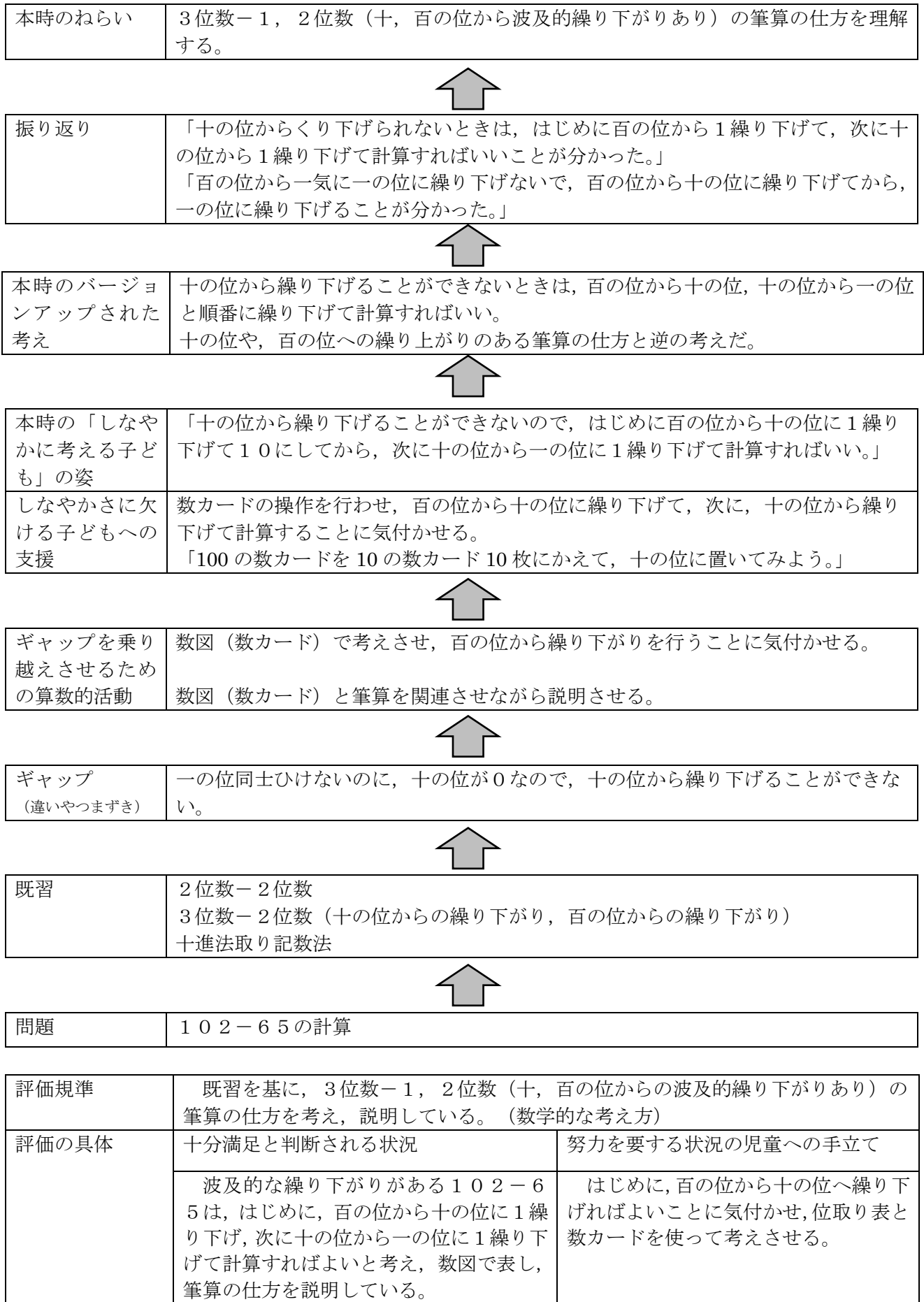


6 本時の目標と展開（授業② 2年1組）

(1) 本時の授業構想図



(2) 本時の目標

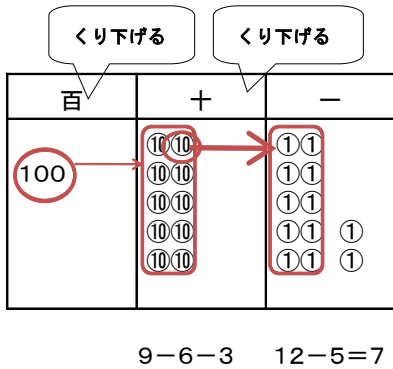
3位数－1，2位数（十，百の位から波及的繰り下がりあり）の筆算のしかたを理解する。

(3) 本時の展開

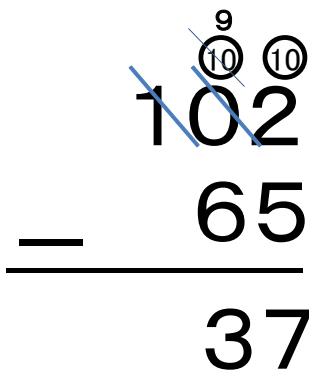
段階	学習活動と予想される児童の反応	留意点(・)と評価(□) しなやかに考える子どもの姿(※)
つかむ 5分	<p>1 問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"><math display="block">\begin{array}{r} 102 \\ - 65 \\ \hline \end{array}</math></div> <p>○前時の時間に学習した筆算とどこが違いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ひかれる数の十の位が0になっている。</li><li>・一の位がひけないときは，十の位から繰り下げたけど，今日の問題は十の位の数が0になっていて，繰り下げることができない。</li></ul> <p>2 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">十の位が0で，くり下げることができないときの，ひっ算のしかたを考えよう。</div> <p>○どのように計算するといいいでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・百の位からかりてくるとできそうです。</li></ul> <p>○答えは，いくらぐらいになりそうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・だいたい30か40ぐらいです。</li></ul>	<p>・前時の筆算を提示し，本時の筆算との違いに気付かせる。本時はひかれる数の十の位の数が0であるため，十の位から繰り下げることができないことを確認する。</p> <p>・百の位に1があるから，百の位から繰り下げられそうだという見通しをもたせる。</p>
考える 8分	<p>3 自力解決をする。</p> <p>○数図で計算の仕方を考えてみましょう。そして，計算の仕方を説明できるようにしましょう。</p>	<p>・全員に数図で考えさせる。</p> <p>・自力解決でとまどっている子には，数カードの操作を通して考えさせる。</p> <p>※（仮説1に関わって） 百の位から繰り下げて計算することを，既習の学習を基に，数図や数カードを用いて考えている。</p> <p>「一の位がひけないので，十の位から1繰り下げたいけど，十の位が0だから繰り下げることができない。百の位からかりてこよう。」</p> <p>「十の位は，10になるから一の位に1繰り下げよう。」</p>
	<p>4 学び合う。</p> <p>○数図（数カード）で説明しましょう。</p>	<p>※（仮説2に関わって） 十の位から繰り下げることができない計算の仕方について，数図と筆算，筆算と言葉を用いながら関連づけて説明したり話し合ったりする。</p> <p>「十の位の数が0なので，百の位から十の位に1繰り下げました。そして，一の位</p>

つくる  
15分

<数図>



○筆算の仕方を説明しましょう。



**一の位の計算**

「2から5はひけない。」  
 「十の位は0なので、繰り下げることができない。」  
 「はじめに、百の位から、十の位に1繰り下げる。」  
 「次に、十の位から一の位に1繰り下げる。」  
 「一の位は、 $12-5=7$ 。」

**十の位の計算**

「十の位は、10から1繰り下げたので9。 $9-6=3$ 。」  
 「だから、 $102-65=37$ 。」

○ どうして、十の位は  $9-6$  になるのでしょうか。  
 ・百の位から十の位に繰り下げたとき、10が10個になったけど、そこから、一の位に1繰り下げたので、 $9-6$ の計算になりました。

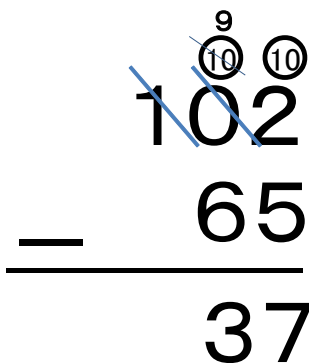
に1繰り下げました。」  
 「一の位に一気に繰り下げないで、はじめに、百の位から十の位へ1繰り下げて、次に十の位から一の位に1繰り下げました。」

**考** 既習を基に、3位数-1, 2位数(十、百の位からの波及的な繰り下がりあり)の筆算のしかたを考え、説明している。(発言、ノート)

・十の位の計算が、 $9-6$ になることを確認する。

まとめる  
7分

5 学習のまとめをする。



**一の位の計算**

①百の位から十の位に1くり下げる。  
 ②十の位から一の位に1くり下げる。  
 $12-5=7$

**十の位の計算**

1くり下げたので9。  
 $9-6=3$   
 $102-65=37$

・補助数字の書き方を知らせ、筆算をノートに書かせる。  
 ・筆算の仕方を言葉でまとめたり、ペアで説明させたりすることにより、筆算のしかたの理解を深めさせる。

百の位から十の位、十の位から一の位にくり下げて計算する。

つなげる10分	<p>6 適用問題を解く。 ○筆算で計算しよう。 ① <math>103 - 47</math></p> <p>② <math>105 - 8</math></p> <p>7 学習の振り返りをする。 ○今日の学習で、大事なことはどんなことだと思いましたが。大事だと思ったことを書きましょう。 ・十の位から繰り下げられないときは、はじめに、百の位から十の位に1繰り下げて、次に、十の位から一の位に1繰り下げて計算することが分かりました。 ・百の位から一気に一の位に繰り下げないで、百の位から十の位に繰り下げてから、一の位に繰り下げることが分かりました。</p> <p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早く計算が終わった子には、筆算の仕方を説明できるようにさせる。</li> </ul> <p><b>考</b> 既習を基に、3位数-1, 2位数(十, 百の位からの波及的な繰り下がりあり)の筆算のしかたを考え、説明している。(発言, ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>板書を振り返った後に、今日の学習で大事だと思ったことを書かせる。</li> <li>波及的な繰り上がりの筆算と逆の考えであることにも触れる。</li> <li>次時は、練習問題で定着を図っていくことを知らせる。</li> </ul>
---------	--	---

(4) 本時の板書

9 / 26

$102 - 65$

十の位が0で、くり下げることができないときの、ひっ算のしかたを考えよう。

百の位から十の位、十の位から一の位にくり下げて計算する。

$102$	十の位が0。 <u>十の位からくり下げることができない。</u>	・百の位から、くり下げることができそう。 ・こたえは、30か40ぐらい。
$- 65$		

<数図>

百	十	一
100	$\begin{matrix} \textcircled{10} & \textcircled{10} \\ \textcircled{10} & \textcircled{10} \\ \textcircled{10} & \textcircled{10} \\ \textcircled{10} & \textcircled{10} \end{matrix}$	$\begin{matrix} \textcircled{1} & \textcircled{1} \\ \textcircled{1} & \textcircled{1} \\ \textcircled{1} & \textcircled{1} \\ \textcircled{1} & \textcircled{1} \\ \textcircled{1} & \textcircled{1} \end{matrix}$

9-6-3    12-5=7

<ひっ算>

$$\begin{array}{r}
 \overset{9}{\cancel{10}2} \\
 - 65 \\
 \hline
 37
 \end{array}$$

**一の位の計算**

①百の位から十の位に1くり下げる。  
 ②十の位から一の位に1くり下げる。  
 $12 - 5 = 7$

**十の位の計算**

1くり下げたので9。  
 $9 - 6 = 3$   
 $102 - 65 = 37$

①  $103 - 47$

$$\begin{array}{r}
 103 \\
 - 47 \\
 \hline
 \end{array}$$

②  $105 - 8$

$$\begin{array}{r}
 105 \\
 - 8 \\
 \hline
 \end{array}$$